

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Stop Bit	1/2
Data Bit	8/7
Parity	Even/Odd/None
Data Rate	4,800/9,600/19,200/38,400 bit per second
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるがMODEが違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ABOFF+CR,LF」 (Alarm Buzzer Off)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2. 「ABOON+CR,LF」 (Alarm Buzzer On)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3. 「ACC+CR,LF」 (Alarm Compulsion Cancel)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラームを強制解除します。

2-2-1-4. 「ADOFF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nn)

アラームの保持時間を設定します。

nnは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-15. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. タイトル関連

2-2-2-1. 「CTmm*****+CR,LF」 (Character Title input channel mm)

入力チャンネルmmのタイトルを設定します。

タイトルの文字長さは14文字なので14文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-2. 「CTABnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Bottom nn)

キャラクタ・タイトルのボトム側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-3. 「CTATnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Top nn)

キャラクタ・タイトルのトップ側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-4. 「CTImmOF+CR,LF」 (Character Title Input mm Off)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【OFF】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-5. 「CTImmON+CR,LF」 (Character Title Input mm On)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ON】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-2-6. 「CTIAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)

全入力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。

2-2-2-7. 「CTIAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)

全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。

2-2-2-8. 「CTIo*****+CR,LF」

(Character Title Input ch. 01~28 (24) Off/On)

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-2-9. 「CTOnnOF+CR,LF」 (Character Title Input nn Off)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【OFF】にします。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

2-2-2-10. 「CTOnnON+CR,LF」 (Character Title Input nn On)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【ON】にします。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

2-2-2-11. 「CTOAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)

全出力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。

2-2-2-12. 「CTOAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)

全出力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。

2-2-2-13. 「CTOoooooooooooo+CR,LF」 (Character Title Output ch. 01~08 (12) Off/On)

全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】, Nは【ON】です。

出力チャンネル1から8(12)まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-2-14. 「CTPI mmB+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Bottom)

入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-2-15. 「CTPI mmT+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Top)

入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-2-16. 「CTPI AB+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Bottom)

全入力チャンネルのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。

2-2-2-17. 「CTPI AT+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Top)

全入力チャンネルのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。

2-2-2-18. 「CTPI ppppppppppppppppppppppppppppppppppppppppppppppp+CR,LF」

(Character Title Position Input ch. 01~28 (24) Bottom/Top)

全入力チャンネルのタイトル表示位置を設定します。

pは、表示位置設定でB/Tです。

Bは【BOTTOM】, Tは【TOP】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で表示位置を設定します。

2-2-3. 日付,時刻

2-2-3-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-4. 「T S A+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-5. 「T S Hnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【23】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-6. 「T S Mnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-7. 「T S Snn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4. 日付,時刻の表示関連

2-2-4-1. 「T S DRn+CR,LF」 (Time Signal Display Range n)

時刻表示のレンジ設定をnにします。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

2-2-4-2. 「T S DSN+CR,LF」 (Time Signal Display Size Normal)

時刻表示のサイズ設定を【NORMAL】にします。

※MSW-2808A/MSW-2412A のバージョンが3.00以降の場合、このコマンドは使用できません。

2-2-4-3. 「T S DSS+CR,LF」 (Time Signal Display Size Small)

時刻表示のサイズ設定を【SMALL】にします。

※MSW-2808A/MSW-2412A のバージョンが3.00以降の場合、このコマンドは使用できません。

2-2-4-4. 「T S InnOF+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn Off)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-4-5. 「T S InnON+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn On)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

2-2-6.出力設定関連

2-2-6-1. 「On n l mm+CR,LF」 (Output ch. nn Input ch. mm)

出力チャンネルnnを入力チャンネルmmに設定します。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-2. 「On n Smm+CR,LF」 (Output ch. nn Sequence pattern no. mm)

出力チャンネルnnをシーケンス・パターン番号mmに設定します。

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】（【12】）です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-3. 「OA l mm+CR,LF」 (Output All ch.Input ch. mm)

全出力チャンネルを入力チャンネルmmに設定します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-4. 「OA Smm+CR,LF」 (Output All ch.Sequence pattern no. mm)

全出力チャンネルをシーケンス・パターンmmに設定します。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-5. 「OP nn+CR,LF」 (Output Pattern no. nn)

全出力チャンネルをアウトプット・パターン番号nnに設定します。

nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-6. 「OP FR+CR,LF」 (Output Pattern FREE)

アウトプット・パターンを【FREE】に設定します。

2-2-6-7. 「OP nn A l mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Input no. mm)

アウトプット・パターンのnnの全出力チャンネルを同一の入力チャンネルmmに設定します。

nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

2-2-6-8. 「OP nn A Smm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Sequence pattern no. mm)

アウトプット・パターンのnnの全出力チャンネルを同一のシーケンス・パターン番号mmに設定します。

nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-6-9. 「OP nn l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Pattern nn Input lmm)

アウトプット・パターンの全出力チャンネルを入力チャンネルlmmに連続で設定します。

nnは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

lmmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I01】～【I28】（【I24】） 入力チャンネル01～28 (24)

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64です。

2-2-6-10. 「OS l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Set 1～8 (12) Input lmm)

全出力チャンネルを入力チャンネルlmmに設定します。

lmmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I01】～【I28】（【I24】） 入力チャンネル01～28 (24)

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64です。

2-2-7.パスワード関連

2-2-7-1.「PMOF+CR,LF」 (Password Menu Off)

パスワード・メニューの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2.「PMON+CR,LF」 (Password Menu On)

パスワード・メニューの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-3.「PNnnnnnn+CR,LF」 (Password Number nnnnnn)

パスワード・ナンバーの設定を【nnnnnn】にします。

範囲は【000000】～【999999】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-4.「POOF+CR,LF」 (Password Operation Off)

パスワード・オペレーションの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-5.「POON+CR,LF」 (Password Operation On)

パスワード・オペレーションの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8.自動切換えパターン関連

2-2-8-1.「SPnnAss+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,All ch. ss second)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

ssは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

2-2-8-2.「SPnnLAss+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,Live All ch. ss second)

シーケンス・パターン番号nnの0秒設定以外のチャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

ssは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

2-2-8-3.「SPnnmms+CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,input ch. mm,ss second)

シーケンス・パターン番号nnの入力チャンネルmmのシーケンス時間を設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】 (【24】) です。

ssは、秒数で設定範囲は【00】～【99】です。

【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

※全てのチャンネルを【00】秒設定にする事は、できません。

2-2-8-4. 「SPnnssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssssss
ssssssssssssssssssssssssss+CR,LF」

(Sequence Pattern no. nn,input ch. 01~28 (24) ,ss second)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

ssは、秒数で設定範囲は【00】～【99】です。

【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

入力チャンネル1から28 (24) まで時間を2桁ずつ連続で設定します。

※全てのチャンネルを【00】秒設定にする事は、できません。

2-2-9.初期化関連

2-2-9-1. 「DSN+CR,LF」 (Default Set Normal)

タイトルを除く設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9-2. 「DSS+CR,LF」 (Default Set Special)

全ての設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E0+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1. 「RABO+CR,LF」 (Read Alarm Buzzer Out)

アラーム時のブザー出力の設定を返します。

「ABOOF+CR,LF」 【OFF】

「ABOON+CR,LF」 【ON】

3-2-1-2. 「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

アラーム時の「ALARM」文字表示の設定を返します。

「ADOF+CR,LF」 【OFF】

「ADON+CR,LF」 【ON】

3-2-1-3. 「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラームの保持時間の設定を返します。

「ADT01+CR,LF」～「ADT99+CR,LF」 【01】～【99】

3-2-1-4. 「RAELnnn+CR,LF」 (Read Alarm Event List no. nnn)

アラーム・イベントのリスト内容を返します。

「AELnnn yy. mm. dd hh:mi:ss+CR,LF」

nnnは、リスト番号で設定範囲は【001】～【960】です。

yyは年, mmは月, ddは日, hhは時, miは分, ssは秒を表します。

アラーム・イベントのリスト件数を返します。
「AELCnnn+CR,LF」
nnnは、リストの件数で値は【001】～【960】です。

アラームの端子台入力に割り付けたチャンネルの設定を返します。
「A I Nmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」
mmmは、チャンネル番号で値は【01】～【28】（【24】）です。
端子台の1～16 に設定されたチャンネル番号を連続で返します。

アラームの端子台入力nnに割り付けたチャンネルの設定を返します。
「A I Nnn I mm+CR,LF」
nnは、端子台番号で値は【01】～【16】です。
mmは、チャンネル番号で値は【01】～【28】（【24】）です。

アラーム入力極性の設定を返します。

「A I P B+CR,LF」	【BREAK】
「A I P M+CR,LF」	【MAKE】

アラームの出力設定を返します。
「AOSnffnf nffnf nffnf nffnf nffnf nffnf+CR,LF」
nffはアラーム入力チャンネルに対するアラーム出力1~3を表します。
fは【OFF】で、nは【ON】です。
全ての出力チャンネル1~28 (24) の設定を連続で返します。

アラームの出力設定を返します。
「AOSmmn f f+CR,LF」
mmは出力チャンネル番号で、設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。
n f fは、チャンネル番号mmに対するアラーム出力1～3を表します。
fは【OFF】で、nは【ON】です。

アラーム・リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」	【BREAK】
「ARON+CR,LF」	【MAKE】

入力チャンネル mm のタイトルを返します。
「CTmm*****+CR,LF」
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。
各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

3-2-2-2. 「RCTAB+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Bottom)

タイトル表示微調整のボトム側の設定を返します。

「CTABnn+CR,LF」

nnは、設定値で【01】～【16】です。

3-2-2-3. 「RCTAT+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Top Bottom)

タイトル表示微調整のトップ側の設定を返します。

「CTATnn+CR,LF」

nnは、設定値で【01】～【16】です。

3-2-2-4. 「RCTI+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. 01～28)

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTIoooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で設定を返します。

3-2-2-5. 「RCTImm+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. mm)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を返します。

「CTImmOF+CR,LF」 【OFF】

「CTImmON+CR,LF」 【ON】

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

3-2-2-6. 「RCTO+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. 01～08)

全出力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTOoooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

出力チャンネル1から8(12)まで連続で設定を返します。

3-2-2-7. 「CTOnn+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. nn)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を返します。

「CTOnnOF+CR,LF」 【OFF】

「CTOnnON+CR,LF」 【ON】

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

3-2-2-8. 「CTPI+CR,LF」 (Read Character Title Position Input)

キャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「CTPIpppppppppppppppppppppppppppppppppppppp+CR,LF」

pは、設定でB/Tです。

Bは【BOTTOM】で、Tは【TOP】です。

入力チャンネルで1～28(24)まで連続で設定を返します。

3-2-2-9. 「CTPIImm+CR,LF」 (Read Character Title Position Input ch. mm)

チャンネルmmのキャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「CTPIImmB+CR,LF」 【BOTTOM】

「CTPIImmT+CR,LF」 【TOP】

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

3-2-3.日付,時刻

3-2-3-1.「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マトリックス・スイッチャ (MSW-2808A/2412A) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-4.日付,時刻の表示

3-2-4-1.「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDRm+CR,LF」

mは、設定値で

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

3-2-4-2.「RTSDS+CR,LF」 (Read Time Signal Display Size)

時刻表示のサイズ設定を返します。

「RTSDSN+CR,LF」 【NORMAL】

「RTSDSS+CR,LF」 【SMALL】

※MSW-2808A/MSW-2412A のバージョンが3.00以降の場合、このコマンドは使用できません。

3-2-4-3.「RTSI+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch.)

全入力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「RTSIoooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から28(24)まで連続で設定を返します。

3-2-4-4.「RTSInn+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch. nn)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を返します。

「RTSInnOF+CR,LF」 【OFF】

「RTSInnON+CR,LF」 【ON】

nnは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】(【24】)です。

3-2-4-5.「RTSO+CR,LF」 (Read Time Signal Output ch.)

全出力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSOoooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定で【F/N】です。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

出力チャンネル1から8(12)まで連続で設定を返します。

3-2-4-6.「RTSONn+CR,LF」 (Read Time Signal Output ch. nn)

出力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSOnnOF+CR,LF」 【OFF】

「TSOnnON+CR,LF」 【ON】

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【08】(【12】)です。

3-2-5.ファンクション キー関連

3-2-5-1.「RFK1M+CR,LF」 (Read Function Key 1 Mode)

ファンクション・キー 1 のモード設定を返します。

「FK1MSP01+CR,LF」～「FK1MSP64+CR,LF」 **【SP01】**～**【SP64】**

3-2-5-2.「RFK1O+CR,LF」 (Read Function Key 1 Out)

ファンクション・キー 1 のアウト・チャンネル設定を返します。

「FK1O01+CR,LF」～「FK1O08+CR,LF」 **【01】**～**【08】** (**【12】**)

3-2-5-3.「RFK2M+CR,LF」 (Read Function Key 2 Mode)

ファンクション・キー 2 のモード設定を返します。

「FK2MSP01+CR,LF」～「FK2MSP64+CR,LF」 **【SP01】**～**【SP64】**

3-2-5-4.「RFK2O+CR,LF」 (Read Function Key 2 Out)

ファンクション・キー 2 のアウト・チャンネル設定を返します。

「FK2O01+CR,LF」～「FK2O08+CR,LF」 **【01】**～**【08】** (**【12】**)

3-2-6.出力設定関連

3-2-6-1.「RONn+CR,LF」 (Read Output ch. nn)

出力チャンネルnnの入力チャンネルを返します。

「OnnImm+CR,LF」/「OnnSmm+CR,LF」

nnは、出力チャンネルで設定範囲は**【01】**～**【08】** (**【12】**) です。

Immは、入力チャンネルで**【01】**～**【28】** (**【24】**) です。

Smmは、シーケンス・パターン番号で**【01】**～**【64】** です。

3-2-6-2.「ROCD+CR,LF」 (Read Output Channel Data)

現在、出力されている入力チャンネルを返します。

オートシーケンスの場合、その時のチャンネルを返します

「OCDmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」

mmは、入力チャンネルです。

【01】～**【28】** (**【24】**) 入力チャンネル01～28 (24)

出力チャンネル1から8 (12) まで連続で設定を返します。

3-2-6-3.「ROP+CR,LF」 (Read Output Pattern no.)

現在のアウトプット・パターン番号を返します。

「OPnn+CR,LF」, 「OPFR+CR,LF」

nnは、パターン番号で**【00】**は「OP」コマンド未使用

【01】～**【64】** はパターン番号01～64です。

FRは、**【FREE】**です

3-2-6-4.「ROPnn+CR,LF」 (Read Output Pattern no. nn)

アウトプット・パターンnnの設定チャンネルを返します。

「OPnnlmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」

lmmは、入力チャンネルで

【I01】～**【I28】** (**【I24】**) 入力チャンネル01～28 (24)

【S01】～**【S64】** シーケンス・パターン番号01～64

です。

出力チャンネル1から8 (12) まで連続で設定を返します。

3-2-6-5. 「R O S+CR,LF」 (Read Output Set)

現在、設定されている出力チャンネルに対する入力チャンネルを返します。

「OS lmm lmm lmm lmm lmm lmm lmm lmm lmm+CR,LF」

1 mmは、入力チャンネルで

【I01】～【I28】（【I24】） 入力チャンネル01～28（24）

【S01】～【S64】 シーケンス・パターン番号01～64

です。

出力チャンネル 1 から 8 (12) まで連続で設定を返します。

3-2-7.パスワード関連

3-2-7-1. 「RPM+CR.LF」 (Read Password Menu)

パスワード・メニューの設定を返します。

「PMOF+CR.LF」 【OFF】

「PMON+CR,LF」 【ON】

3-2-7-2. 「RPN+CR.LF」 (Read Password Number)

パスワード・ナンバーの設定を返します。

「PNnnnnnnn+CR,LF」 【000000】～【999999】

3-2-7-3. 「RPO+CR.LF」 (Read Password Operation)

パスワード・オペレーションの設定を返します。

「POOF+CR,LF」 【OFF】

「POON+CR.LF」 【ON】

3-2-8.自動切換えパターン関連

3-2-8-1. 「R S P n n+CR.LF」 (Read Sequence Pattern no. no. nn)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を返します。単位は秒です。

[illegible]

```
S S S S S S S S S S S S S S S S S S S S+CR,LF]
```

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

SSは、秒数で【00】～【99】です。

入力チャンネル1から28（24）まで時間を2桁ずつ連続で返します。

3-2-8-2. 「R S P n nmm+CR,LF」 (Read Sequence Pattern no. nn,input ch. mm)

シーケンス・パターン番号nnの入力チャンネルmmのシーケンス時間を返します。単位は秒です。

「SPnnmm00+CR,LF」～「SPnnmm60+CR,LF」 【00】～【99】

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【28】（【24】）です。

3-2-9.バージョン情報

3-2-9-1. 「RVN+CR.LF」 (Read Version Number)

MSW-2808A (2412A) のバージョン番号を返します。

「MSW-2808A V *. **+CR,LF」

「MSW-2812A V *. **+CR.LF」

*は、数値で【0】～【9】です。

4. ご注意

Command の発行を連続で行う場合 200mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

タイトル・キャラクタ設定 (C T Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字で

0x222f~0x2239,0x2242~0x2249,0x2251~0x225b,0x226b~0x2271,0x227a~0x227d,
0x2321~0x232f,0x233a~0x2340,0x235b~0x2360,0x237b~0x237e,0x2474~0x247e,
0x2577~0x257e,0x2639~0x2640,0x2659~0x267e,0x2742~0x2750,0x2772~0x277e,
0x2841~0x2f7e,0x4f54~0x4f7e

のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427~0x7e7e のコードは除きます。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5. 変更履歴

2011.05.20 「5.変更履歴」追加。

2011.07.06 2-2-8-2. 「S P n n L A s s+CR,LF」追加

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ー’ 02BH を 02DH に修正

2023.02.03 MSW-2808A / MSW-2412A のバージョンアップによる機能変更に伴い、ver.3.00 以降では以下のコマンドが使用不可となる注釈を追加。

2-2-4-2. 「T S D S N+CR,LF」

2-2-4-3. 「T S D S S+CR,LF」

3-2-4-2. 「R T S D S+CR,LF」

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ャ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ュ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ョ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	ォ	0ABH
Y	059H			ッ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH